

2026年2月1日 実施

川崎医科大学

一般 物理



【第1問】

ア：⑨ イ：③ ウ：② エ：⑧ オ：⑦ カ：⑩

キ：② ク：⑤ ケ：② コ：④ サ：⑩ シ：⑨

ス：⑨ セ：① ソ：⑤ タ：② チ：⑤ ツ：②

【第2問】

ア：⑥ イ：② ウ：④ エ：④ オ：③ カ：⑥

キ：⑥ ク：⑤ ケ：①

(コ・サ・シ・ス) → 1.00

(セ・ソ・タ・チ) → 8.00

ツ：①

(テ・ト・ナ・ニ) → 4.00

(ヌ・ネ・ハ) → 12.00

ヒ：②

(フ・ヘ・ホ・マ) → 0.50

【講評】

第1問

- I エネルギー保存と運動量保存による重心の運動。計算がなく状況把握のみで解けるので瞬殺したい。
- II 電流に働く磁場の力と斜方投射。状況自体はシンプルだが、計算ミスには注意が必要。
- III 熱力学。空気（気体）と水は比熱が大きく異なるので、ほぼすべての熱量が水の温度変化に使われることを日常の科学として理解しておきたい。

第2問

- I カルノーサイクルの基本問題。5乗根の表記に少し戸惑うかもしれないが、マーク形式なので点数には影響なし。
- II 電気回路。ホイートストンブリッジの説明と時間経過によるコンデンサーの扱い変化。問題集の基本問題でよく出る形式。合成抵抗の公式を自分で導出できる状態であれば問題なく解ける。

どの大問も問題集に載っているような問題。基本的な問題集を丁寧に何周もまわした受験生はしっかりと得点できただろう。1次突破には7割は欲しい。